

月報(5)

2010年9,10月号

1. 利用状況 [9月1日～10月31日]

1) 総括

総利用者数 **1605人** [2009年度 1912人, 2008年度 1708人]
50.2人/日 [学習相談 1478人(32日), 補習授業 127人(23日)]

2) 利用統計

学科・学部別利用者数

学部	年度	2010						2009	2008
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上	合計		
理工学部	C科	68人	24人	8人	1人	0人	101人	89人	90人
	A科	121人	33人	98人	5人	0人	257人	271人	318人
	E科	247人	120人	467人	40人	4人	874人	999人	811人
	M科	70人	63人	91人	22人	0人	246人	273人	289人
	B科	***	37人	34人	3人	0人	74人	270人	195人
	R科	29人	***	***	***	***	29人	***	***
	V科	4人	***	***	***	***	4人	***	***
経営学部		1人	0人	0人	0人	0人	1人	10人	5人
法学部		5人	0人	3人	0人	0人	8人		
外国語学部		0人	0人	2人	1人	0人	3人		
経済学部		0人	0人	0人	0人	0人	0人		
薬学部		1人	大学院	1人	留学生別科	6人	20人		

学年別利用者数

年度	2010	2009	2008
1年生	545人	425人	781人
2年生	277人	755人	717人
3年生	703人	715人	143人
4年生	72人	16人	66人
その他	8人	1人	1人

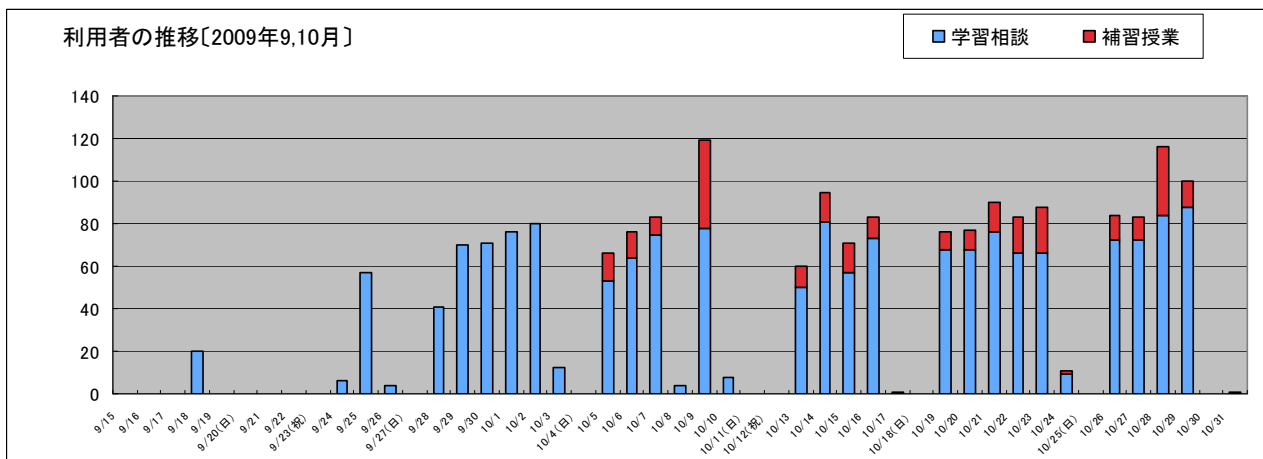
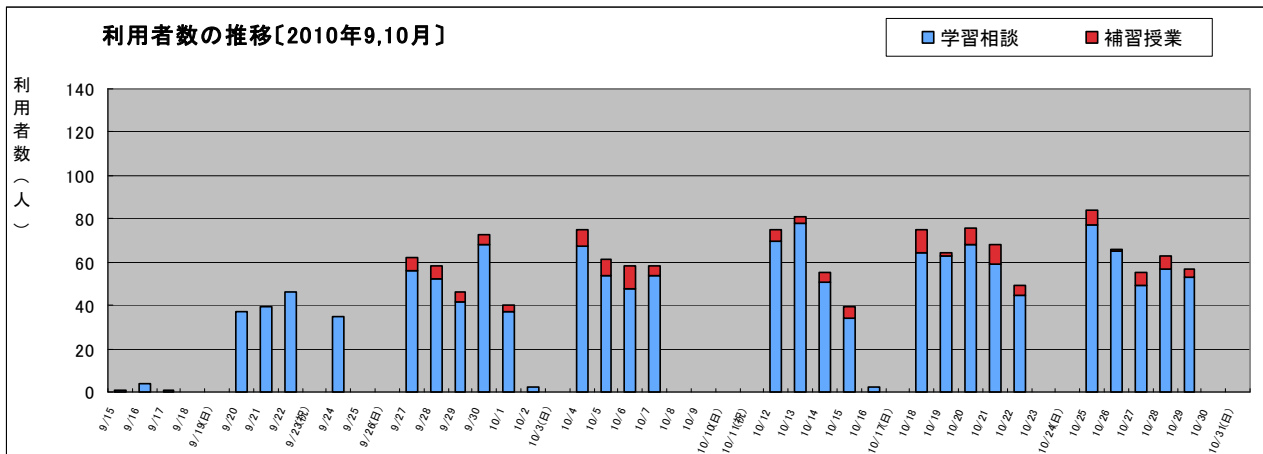
科目別利用者数

年度	2010	2009	2008
数 学	505人	650人	958人
物 理	101人	76人	155人
英 語	10人	20人	46人
情 報	2人	7人	12人
化学・生物	4人	10人	537人
専門・一般	76人	169人	
自 習	877人	938人	
その他	30人	42人	

9,10月の利用状況を表に示した。理工学部の利用が98.8%、それ以外の学部の利用は1.2%であった。今年度は後期に入ってから、例年よりも利用者が少なく感じられた。総利用者数を比較すると前年度、一昨年度よりも利用が減少している。その原因は2009年度の入学生の利用が少ないことによる。2007、2008年度入学生は4年次での利用を除いて例年コンスタントに利用していたことがわかり、これまでの支援室の利用者増はこれらの学生の利用によるものである。また、4年次生の利用が多いのは、卒業研究の中間発表の資料作りを支援室のPCブースで行ったり、そのためのアドバイスを求めるために利用している。その他の利用の内訳はSPIや資格試験のための利用であった。

3) 利用者の推移

9, 10月の利用者数の推移を表に示した。一日あたりの利用者数は昨年度に比べて、1日当たり20人ほど減っている。時間割の関係からか、特に金曜日の利用が少ない傾向がある。今年は撰大祭が10月に実施されたこともあり、当月の利用はかなり減少している。



2. 今月のトピックス

* [9月27日(月)]

補習授業の開始。後期は4名の非常勤講師の先生にお願いした。各教科の実施は下記の通り。(敬称略)

物理(高瀬)	数学(小松)	英語(藤原)	英語(鷺島)
月 - 電気総合	月～金	火、水	月、水、金
水 - 電磁気学	微積分	TOEIC 対策	英語塾
木 - 電気回路	線形代数	院試対策	

* [9月29日(水)]

支援センターのスタッフ会議を行った。議事は部長会議報告と2011年度入学予定者の入学前教育について。出席者はセンタースタッフ4名と太田センター長(教務部長)、喜多教務課長、古谷学習支援室担当、加嶋、小林、皆本(センター員)の6名。(敬称略)

* [9月30日(木)]

第3回理工学部学習支援センター運営委員会が開催された。議事は学習支援センター前期の利用状況報告と今年度の活動テーマの進捗状況の報告。加嶋(A科)、山崎(B科)、伊藤(C科)、井上(E科)、池田(M科)、島田(R科)、尾山(V科)、小林(数学)、神嶋(物理)、一色(センター員)、菅波(センタースタッフ)(敬称略)が出席。

* [10月19日(火)]

支援センターのスタッフ会議を行った。部長会議、2011年度入学予定者の入学前教育について。出席者はセンタースタッフ4名と太田センター長(教務部長)、喜多教務課長、古谷学習支援室担当、皆本、小林(センター員)の5名。(敬称略)

(担当 菅波昌広)